

Magic xpi 4.13

データマッパー新機能 の使用方法

OUTPERFORM THE FUTURE

Magic Software Japan K.K.



目次

- 第1章 ノードの検索
 - 1.1 名前検索
 - 1.2 データタイプ検索
 - 1.3 接続済/未接続検索
 - 1.4 正規表現検索

- 第2章 マッピング

- 2.1 全て選択
 - 2.1.1 Simple
 - 2.1.2 Fuzzy
 - 2.1.3 1:1



OUTPERFORM THE FUTURE™

2.2 複数選択マッピング

第1章

ノードの検索



OUTPERFORM THE FUTURE™

1 ノードの検索

- Magic xpi4.13より、データマッパーで、ノードの検索機能が追加されました。

検索キー入力

検索キー入力

The screenshot displays the Magic xpi4.13 Data Mapper interface. On the left, the '送り元' (Source) pane shows a 'FlatFile_1' node with a search bar containing '検索' (Search) and an 'Apply' button. Below the search bar is a list of fields: 顧客名, 都道府県, 住所1, 住所2, 郵便番号, 電話番号, FAX番号, メールアドレス, and 種別. On the right, the '送り先' (Target) pane shows an 'IFD_Salesforce' node with a search bar containing '検索' (Search) and an 'Apply' button. Below the search bar is a list of fields: type, Id, IsDeleted, MasterRecordId, Name, Type, ParentId, BillingStreet, BillingCity, BillingState, BillingPostalCode, BillingCountry, BillingLatitude, BillingLongitude, BillingGeocodeAccuracy, and BillingAddress. Lines connect the source fields to the target fields, illustrating a data mapping. The search bars in both panes are circled in red.

[アカウント追加 \(Salesforce.com\)](#)



OUTPERFORM THE FUTURE™

1.1 名前検索

■ 名前検索



※対象がハイライト

※対象のみ表示

1.2 データタイプ検索

■ データタイプ検索

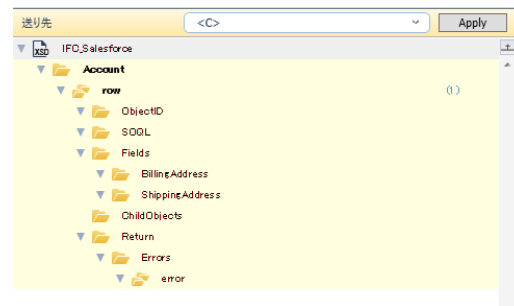
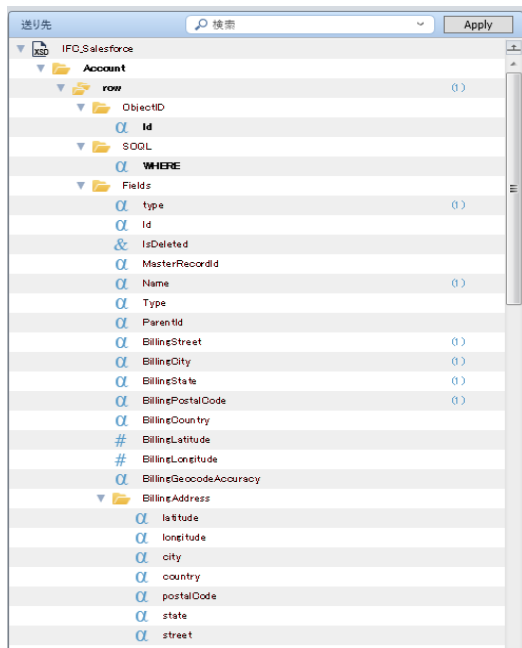
- <C> : 複合ノード
- <N> : 数値型ノード
- <A> : 文字型ノード
- <D> : 日付型ノード
- <T> : 時刻型ノード
- : Blob型ノード
- <L> : 論理型ノード
- 「;」 : セミコロンでOR条件で検索
 - <N>;<D> : 数値型 or 日付型



1.2 データタイプ検索

データタイプ検索

- <C> : 複合ノードの例

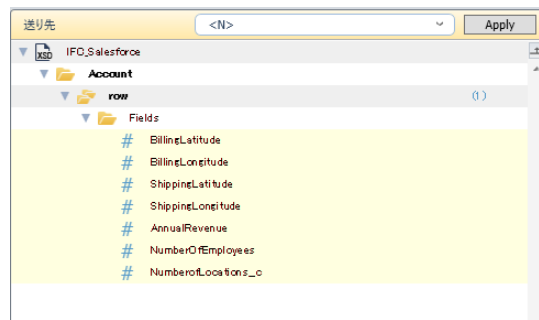
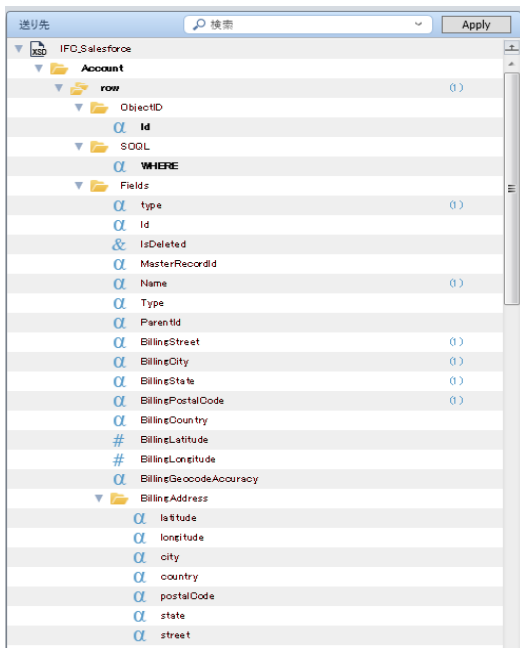


※対象のみ表示

1.2 データタイプ検索

データタイプ検索

- <N> : 数値型ノードの例

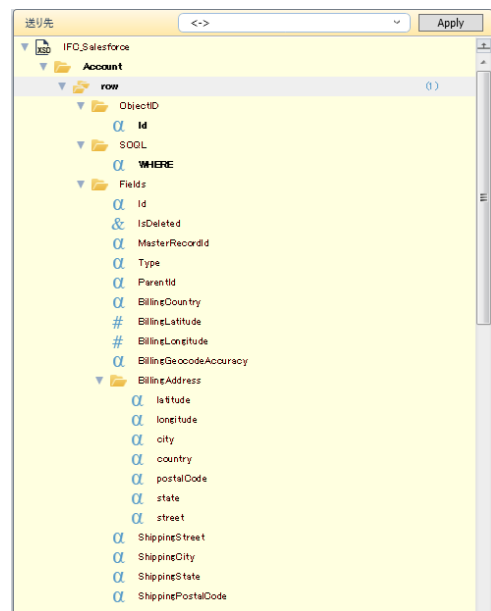
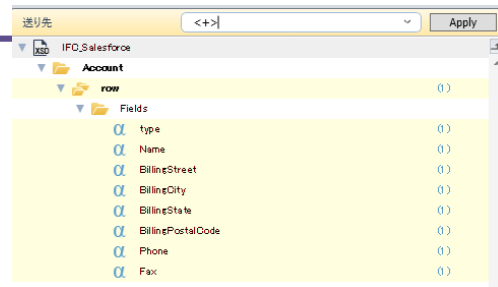
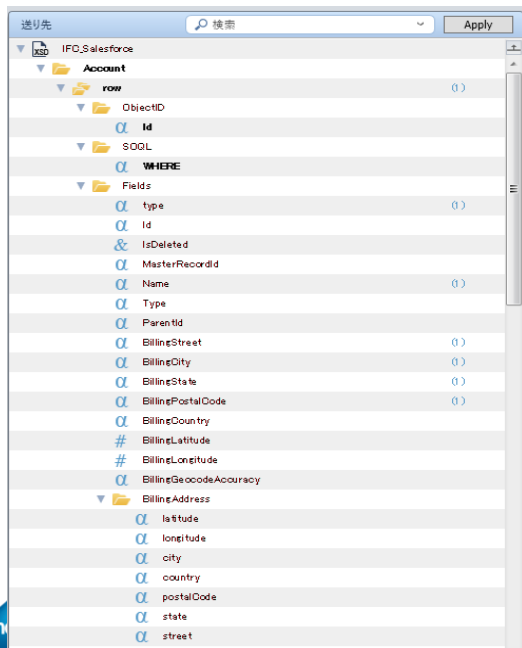


※対象のみ表示

1.3 接続済/未接続検索

■ 接続済/未接続検索

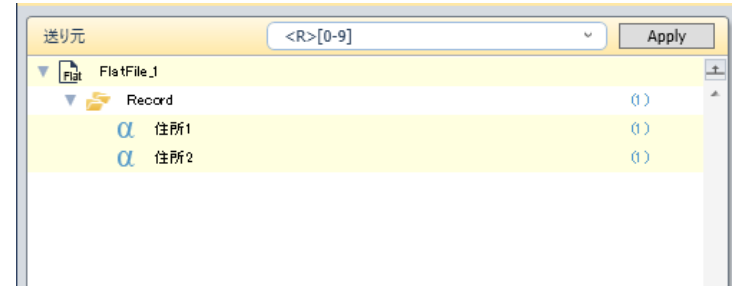
- <+> : 接続済ノード
- <-> : 未接続ノード



1.4 正規表現検索

■ 正規表現検索

- <R>[0-9] : ノード名に数字が含まれている



第2章 マッピング

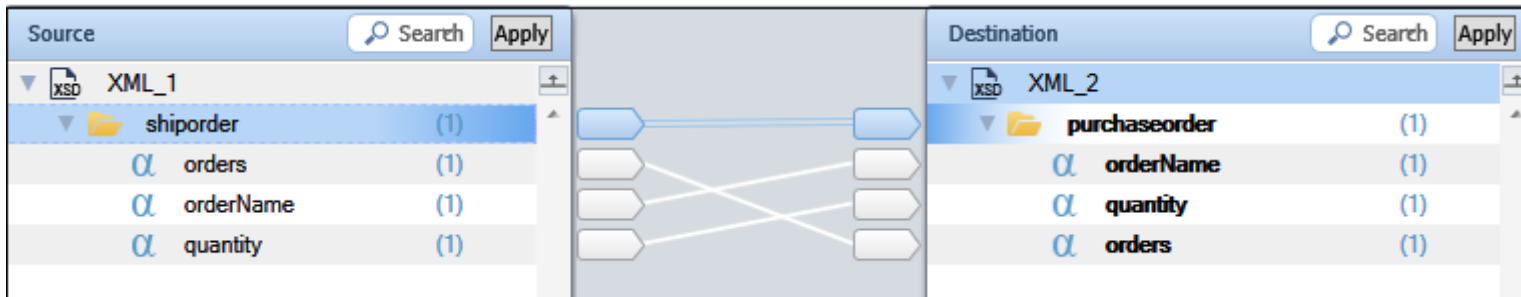


OUTPERFORM THE FUTURE™

2.1.1 全て選択 : Simple

▪ Simple

ノード名を判断し、送り元と送り先間の接続を作成します。ここでは、送り元と送り先の両方のノード名が同じである必要があります。名前のマッチングでは、大文字と小文字は区別されません。



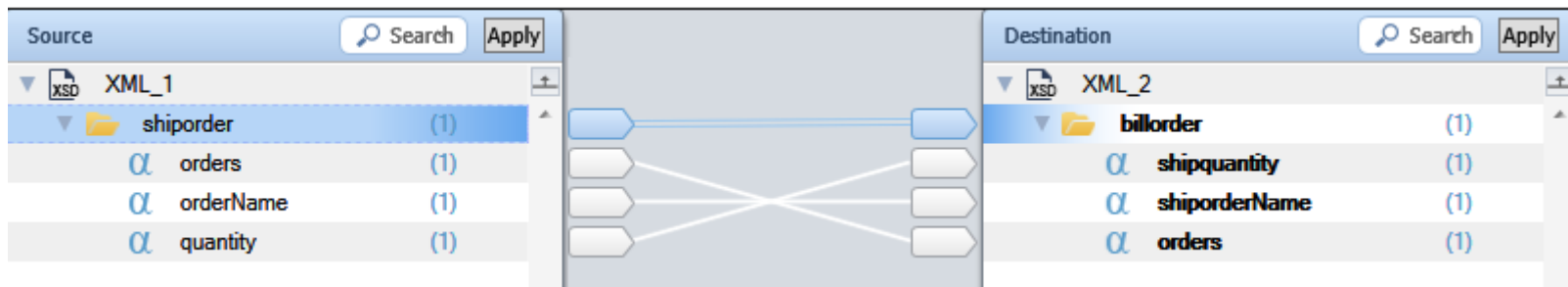
2.1.2 全て選択 : Fuzzy

▪ Fuzzy

データ マッパーは、以下のルールに基づいて送り元と送り先間の接続を作成します。ノード名のマッチングは、以下の順序で行われます。名前のマッチングは、大文字と小文字の区別はありません。

部分的な名前的一致は、以下の順序でランク付けされます。

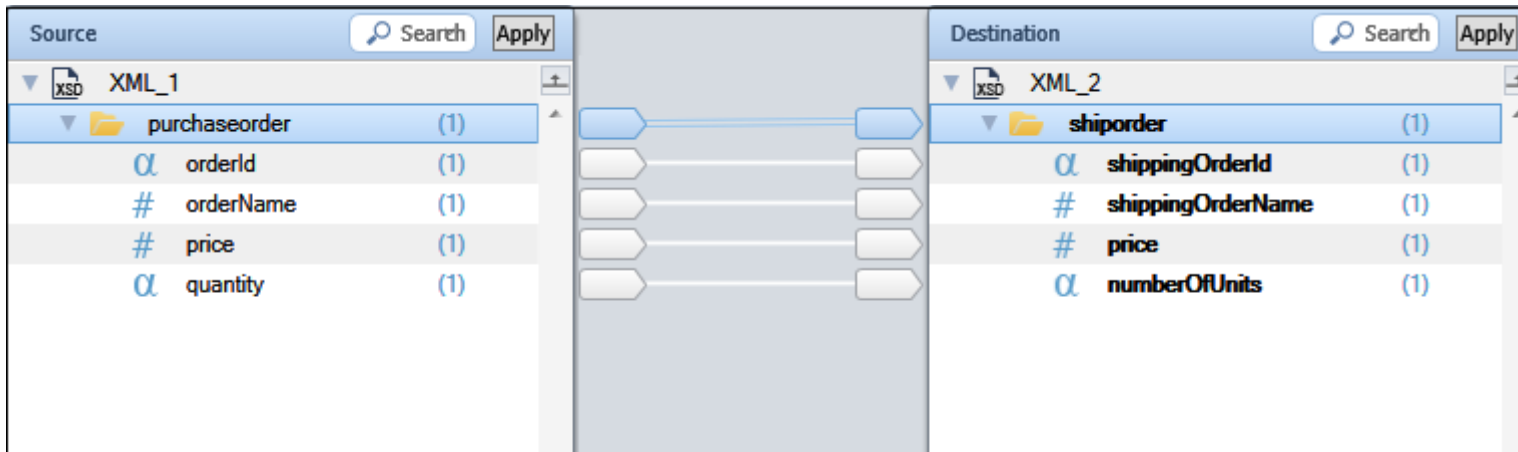
1. 送り先ノード名は送り元ノード名と同じです。
2. 送り先ノード名は送り元ノード名で始まります。
3. 送り先ノード名は送り元ノード名で終わります。
4. 送り先ノード名には送り元ノード名が含まれます。



2.1.3 全て選択 : 1:1

- 1:1

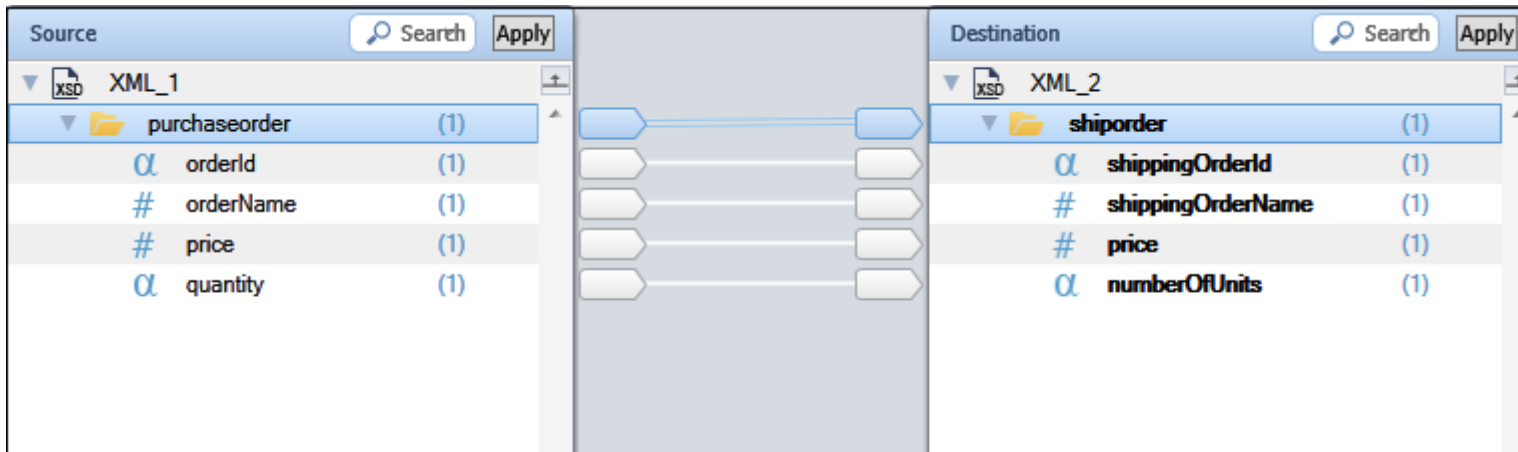
送り元と送り先間のノードが順番にマップされます。



2.2 全て選択 : 1:1

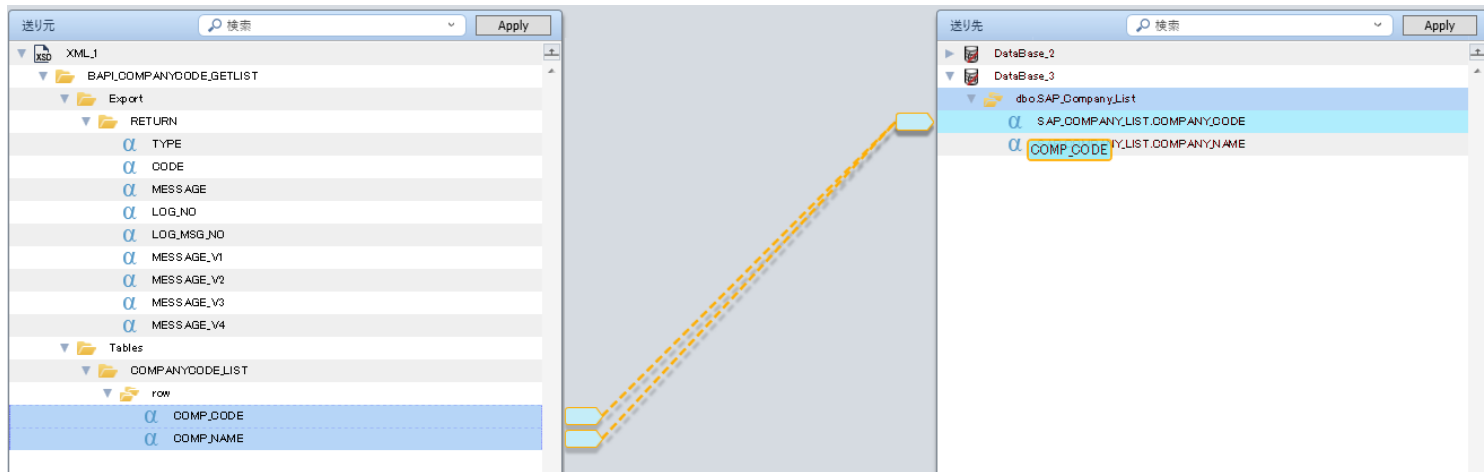
- 1:1

送り元と送り先間のノードが順番にマップされます。



2.3 複数選択マッピング

- 複数選択マッピング
 - 送り元でノードを複数選択した際、送り先で選択したノードから順番に選択したノードがマッピングされます。



THANK YOU!



OUTPERFORM THE FUTURE™

